

日本語における4拍語の表記頻度データベース(1)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-09-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 川上, 正浩, 新名, 加奈子 メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4560

日本語における4拍語の表記頻度データベース (1)

川上 正浩・新名加奈子

臨床心理学専攻教授/臨床心理学専攻1回生

要約

笹沼(1987)は印欧語における失読症状と日本語におけるそれとの間には、各々の書字体系に内在する固有の性質による差異が存在することを示唆している。こうした失読パターンの診断や分類のための検査等に際して、日本語の表記に関する十全なデータベースが必要となる。本研究では、表記の親近性や、単語の形態情報と意味情報との対応に着目し、平仮名やカタカナ、あるいは漢字で表記される可能性のある単語について、その表記(形態)の頻度(天野・近藤, 2000)と、単語(意味)の頻度とに関するデータベースを作成することを目的とした。ここでは、対象とする単語のモーラ数を4拍に限定し、検査等に用いるための4拍語のデータベースを作成した。データベースが大部になるため、本稿では複数の表記が存在する4拍語について、次報(川上・新名, 2014)では単一の表記しか存在しない4拍語について、そのデータベースを報告する。

キーワード：4拍語, 表記形態, 頻度, データベース, 形態表象, 音韻表象

問題と目的

読み書きに障害をもつ難読症は、発達性難読症(developmental dyslexia)と、後天性難読症(acquired dyslexia)とに分類することができる。発達性難読症は読み書き能力の発達に遅滞が見られるものであり、教育や訓練によってたいていの場合は正常に回復する医学的問題として捉えられる(Kwok・石崎・福田, 2003)。一方の後天性難読症は、脳に損傷を受けたことにより、読み書きに障害を示すものである。たとえば後天的に脳梗塞や脳内出血を起こすことにより、脳機能が低下したり脳の一部分が停止したりした状態になり、後天性難読症が引き起こされる。

後天性難読症はその症状、すなわち読みの障害の特徴により、純粹失読症(pure alexia)、深層難読症(deep dyslexia)、表層難読症(surface dyslexia)、音韻性難読症(phonological dyslexia)などに分類される(阿部・桃内・金子・李, 1994)。

純粹失読症は、word blindnessあるいはletter by letter dyslexiaとも呼ばれるように、文字を

読むことはできるが、単語を読むことができない障がいである。聞くことや話すことについては問題がないため、心的辞書(mental lexicon)自体には問題がないが、心的辞書内の語形情報(単語の全体的形態に関する情報)に視感覚系からコンタクトできない状態であると考えられている(阿部他, 1994)。

深層難読症は、単語を見て、その意味は理解できるが、それを正しく読むことができない障がいである。読みの誤りについては、意味的な誤り(semantic error)と呼ばれるもの(たとえば“soccer”を“football”と読む)や派生的誤りと呼ばれるもの(たとえば“painting”を“painter”と読む)がある。また、実在しない非単語(non-word)についてはほとんど読むことができない。このことから、心的辞書における単語の意味情報と音韻情報そのものは正常に保たれているがそれらの連絡部分に問題があることが示唆される(阿部他, 1994)。

表層難読症は、文字と読みとの関係が規則的で

あるような単語（規則語）は読めるが、そうでない単語（不規則語）は読むことができない障がいである。規則語（regular word）とは、特に印欧語において、その綴り（spelling）と発音（pronunciation）とが、その対応規則（書記素－音素対応規則：grapheme－phoneme correspondence rules）に則った語（たとえば“desk”や“wave”）であり、不規則語（irregular wordあるいはexception word）とは、そうではない語（たとえば“listen”や“have”）である。したがって、表層難読症においては、Morton（1979）の仮定する書記素－音素変換経路（grapheme－phoneme conversion route）が保たれている一方で、個々の単語についての語彙知識が損なわれていることが想定される。

音韻性難読症は、規則語であっても不規則語であっても、単語については読めるが、非単語を読むことができない障がいである。単語を読むことができることから語形情報から音韻情報への変換は可能であるが、非単語を読むことはできないことから、書記素－音素変換経路が損なわれていることが想定される。また、読むことができて意味がわからない単語がある場合もあり、語形情報や音韻情報から、意味情報への変換に問題がある可能性も示唆される。

以上は印欧語（主に英語）を母国語とする患者に見られる失読パターンの分類であるが、日本語母国語話者における失読パターンの分類については笹沼（1987）に詳しく報告されている。東京都老人医療センター等の施設で治療の対象となった失語症患者6名を対象とした検査において笹沼（1987）は、深層難読症や表層難読症に相当するタイプを見いだすとともに、日本語母国語話者に特有の失読パターンを報告している。このことから笹沼（1987）は印欧語における失読症状と日本語におけるそれとの間に、書字体系の違いを越えた、普遍的な障害パターン、およびそれらをもたらす普遍的な障害機構とが存在する一方で、各々の書字体系に内在する固有の性質が、単語の読みにおける情報処理方略の選択に少なからぬ影響を

与えていると結論づけている。

単語と表記との関連について、日本語には印欧語には見られない特徴がある。表記の親近性（広瀬，1984；川上，1993）の問題とも相まって、形態と音韻と意味との関連は、日本語においては非常に複雑である。

たとえば、単語“相性（アイショウ）”は、“合性（アイショウ）”と表記される場合もあり、さらには平仮名やカタカナで“あいしょう”、“アイショウ”と表記されても誤りではない。そしてその一方で、単語“愛称（アイショウ）”や“愛唱（アイショウ）”は、同一の音韻情報を有するものの、異なる意味を持つ単語として区別される。

このように、漢字や仮名とアルファベットといった文字記号の性質の違いが日本語母国語話者の失読パターンに影響しているとするならば、この失読パターンの診断や分類に際して、日本語の表記に関する十全なデータベースが必要となるだろう。たとえば、失読症患者の読みの課程の障害に焦点を合わせた検査を実施するに際して、笹沼（1987）は、北尾・八田・石田・馬場園・近藤（1977）による、「教育漢字881時の具体性・象形性および熟知性」の基準表を参照し、検査に用いる単語の選定を行っている。同様に、今後も失読パターンの検査等に用いる単語を選定するにあたっては、客観的でアップトゥデートなデータベースが必要とされている。

そこで本研究では、表記の親近性や、単語の形態情報と意味情報との対応に着目し、平仮名やカタカナ、あるいは漢字で表記される可能性のある単語について、その表記（形態）の頻度と、単語（意味）の頻度とに関するデータベースを作成することを目的とする。そして本稿では、対象とする単語のモーラ数を4拍に限定し、検査等に用いるための4拍語のデータベースを作成し、報告する。

方法

本研究では、4拍語の表記の親近性に着目し、それぞれの単語がどのような表記で目にされるこ

とが多いのか、をデータベース化する。たとえば、単語“青虫(アオムシ)”は、漢字で表記される場合も、平仮名で“あおむし”と表記される場合も、カタカナで“アオムシ”と表記される場合もあるだろう。単語“苺(イチゴ)”については、漢字の“苺”よりも平仮名の“いちご”あるいはカタカナの“イチゴ”として表記されることの方が多い(国立国語研究所, 1983)。この表記の親近性を判断できる客観的なデータベース作成のため、それぞれの表記での出現頻度については天野・近藤(2000)を参照する。

天野・近藤(2000)は、朝日新聞の1985年から1998年の記事データに対して形態素解析を行い、単語を切り分け、抽出された36万語の出現頻度を調査したデータベースである。天野・近藤(2000)のデータベースにおいては、それぞれの計数項目に共通IDが付与されている。この共通IDは、単語とそこに現れる文字に関する各種の調査をまとめたデータベースである天野・近藤(1999)の項目に付与されたIDと対応付けられている。

天野・近藤(1999)は、「新明解国語辞典(金田一・山田・柴田・山田, 1989)第四版」の見出し項目を基本とする8万余語についての調査をまとめたデータベースである。天野・近藤(2000)では、この天野・近藤(1999)のデータベース「日本語の語彙特性」第1巻から第4巻から、当該計数項目に対応する単語を表記を手がかりに検索し、検索が成功した場合に付与される第1巻から第4巻におけるIDを付与している。したがって、共通IDが付与されている計数項目については、この共通IDによって、同一単語であるか否かの判断ができることになる。

たとえば、計数項目“合性(アイショウ)”と“相性(アイショウ)”とは、同一の共通ID(890)が付与されていることから、表記は異なるものの同一の単語であることがわかる。一方で計数項目“愛称(アイショウ)”は、前述の2つの“(アイショウ)”と読みは同一であるが、異なる共通ID(860)が付与されていることから、異なる単語

(同音異義語)であることがわかる。

また、この共通IDが付与されていない計数項目(データベースでは共通ID欄に“z”と記載されている)があるが、これらは、表記を手がかりにした検索において「日本語の語彙特性」第1巻から第4巻に対応する単語が見つからなかった計数項目である。たとえば計数項目“合いガモ(アイガモ)”がこれに当たる。この計数項目は計数項目“合鴨(アイガモ)”(共通ID430)と同一の単語と見なされるべき項目である可能性が極めて高いが、「日本語の語彙特性」第1巻から第4巻が参照している「新明解国語辞典」中の“合鴨(アイガモ)”(共通ID430)の項に、“合いガモ”という表記が記載されていなかったことにより、同一の単語としての認定ができなかったものと推察される。

こうした場合には、単語“合鴨(アイガモ)”(共通ID430)のそれぞれの表記での出現頻度を数え上げる際に、計数項目“合いガモ(アイガモ)”の出現頻度を算入すべきか否かが不明で、決定できないため、同一の読みを持つ計数項目の中に、共通IDが“z”である計数項目が含まれている場合には、その同一の読みを有する単語は全てデータベース化の対象から除外した。一方、共通IDが“z”と記載されている計数項目についても、同一の読みを持つ計数項目がそれ以外に登録されていなければ、当該計数項目の表記が当該単語の単一の表記形態であると見なしてデータベース化の対象とした。

このように、それぞれの計数項目が有する表記の頻度が天野・近藤(2000)のデータベース上で一義的に決定できると見なされた単語のみを本研究のデータベース化の対象とした。その上で、それぞれの単語に対してどのような表記がどの程度の頻度で使用されているかを一覧できるデータベースを作成した。

結果と考察

上記の方法により、40,901の項目を抽出した。ただし、本稿ではこれらのうち、総頻度が1500

以上の普通名詞で、複数の表記を有するものについて報告の対象とする。上記の基準を満たす4拍語のデータベースを作成した。

表1には、表記の種類が3種類以上存在する4拍語について、これを、その読みの五十音順に示した。表1の“種”のカラムには、その単語が何種類の表記を有するのかわかり、各表記とその頻度”のカラムにおいては、それぞれの表記について実際に記載し、括弧内にその頻度を示した。なお、各表記については、その出現頻度が高い順に掲載している。

表2には、表記の種類が2種類存在する4拍語について、その読みの五十音順に示した。“各表記とその頻度”のカラムにおいては、表1と同様、それぞれの表記について実際に記載し、括弧内にその頻度を示した。各表記の配列については表1と同様、その頻度順とした。

単一の表記しか存在しない4拍語については、第二報(川上・新名, 2014)において報告する。

本研究の結果、日本語における失読パターンの診断や分類、あるいはこれを検証するための心理学的実験を行うに際して刺激材料として利用可能な、4拍語(あるいはカタカナ4拍語やひらがな4拍語)のデータベースが作成された。表記と意味、表記と音韻との関連を含めて、こうした実験を遂行するための刺激作成においては、今回報告されたデータベースは有効なツールとなる。

* 本研究は2013年度大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻において開講された授業「認知心理学特論」の一環として実施されたものである。

文献

天野成昭・近藤公久(1999):「日本語の語彙特性 第1期(第1巻~第6巻)」三省堂
 天野成昭・近藤公久(2000):「日本語の語彙特性 第2期(第7巻)」三省堂

阿部純一・桃内佳雄・金子康朗・李光五(1994):
 人間の言語情報処理 言語理解の認知科学 サイエンス社

広瀬雄彦(1984):漢字および仮名单語の意味的処理に及ぼす表記頻度の効果 心理学研究, 55(3), 173-176.

川上正浩(1993):仮名語の語い決定課題における表記の親近性と処理単位 心理学研究, 64(3), 235-239.

川上正浩・新名加奈子(2014):日本語における4拍語の表記頻度データベース(2) 大阪樟蔭女子大学臨床心理学専攻・附属カウンセリングセンター研究紀要, 8, 59-65.

金田一京助・山田明雄・柴田武・山田忠雄(1989):
 新明解国語辞典 第四版 三省堂

北尾倫彦・八田武志・石田雅人・馬場園陽一・近藤淑子(1977):教育漢字881字の具体性、象形性および熟知性 心理学研究, 48(2), 105-111.

国立国語研究所(1983):現代表記のゆれ 国立国語研究所報告75 秀英出版

Kwok, Misa Grace・石崎俊・福田忠彦(2003):音読困難者の眼球運動特性に基づく新しい読字モデル Keio SFC journal, 2(1), 92-112.

Morton, J.(1979): Facilitation in word recognition: Experiments causing change in the logogen model. In P. A. Kolers, M. E. Wrolstad, & H. Bouma (Eds.), *Processing of visible language, Vol. 1*. New York: Plenum.

笹沼澄子(1987):脳損傷に起因する読みの障害。一言語病理学的立場から。御領謙, 読むということ。補稿 東京大学出版会

山田純(1997):日本語児の発達性難読症 音声言語医学, 38(3), 287-290.

表1 3種類以上の表記が存在する4拍語

読み	全頻度	種	各表記とその頻度
アカルミ	2863	3	明るみ(2859), 明かるみ(3), あかるみ(1)
アツカイ	8176	3	扱い(8131), 扱(23), あつかい(22)
アラソイ	8962	3	争い(8793), 争(164), あらそい(5)
ウキボリ	4929	3	浮き彫り(4916), うきぼり(10), 浮彫(3)
ウケツケ	3979	3	受け付け(2636), 受付(1342), うけつけ(1)
ウケトリ	1876	4	受け取り(1404), 受取(470), 受取り(1), 請取(1)
ウタガイ	33535	3	疑い(33260), 疑(274), うたがい(1)
オノオノ	6772	3	各(6418), おのおの(261), 各々(93)
カケヒキ	2219	4	駆け引き(2213), 駆け引(3), かけひき(2), 駆引(1)
カズカズ	1636	3	数々(1615), かずかず(19), 数数(2)
カンガエ	61762	3	考え(61560), 考(195), かんがえ(7)
ガンバリ	1532	4	がんばり(677), 頑張り(462), 頑張(373), ガンバリ(20)
ケイヒン	1564	3	景品(1556), ケイヒン(6), けいひん(2)
ジツジョウ	7935	3	実情(7903), 実状(31), じつじょう(1)
ジャガイモ	1605	4	ジャガイモ(1399), ジャガ芋(124), じゃがいも(74), じゃが芋(8)
シュウラク	2569	3	集落(2564), 聚落(3), しゅうらく(2)
シロウト	2593	3	素人(2407), しろうと(113), シロウト(73)
シンリヤク	7597	3	侵略(7595), しんりゃく(1), 侵掠(1)
ゼイタク	2197	3	ぜいたく(2053), 贅沢(130), ゼイタク(14)
ソレソレ	43507	3	それぞれ(43501), 夫々(4), 夫夫(2)
タチアイ	1835	5	立ち会い(899), 立ち合い(795), 立会(129), 立合(9), 立会い(3)
チュウモン	15025	3	注文(15023), ちゅうもん(1), 註文(1)
ツナガリ	4047	3	つながり(4042), 繋がり(4), 繋り(1)
トリケシ	3331	4	取り消し(3314), 取消(15), とりけし(1), 取消し(1)
トリヒキ	40773	3	取引(40746), 取り引き(24), 取引き(3)
ナットク	11956	3	納得(11936), なっとく(15), ナットク(5)
ニワトリ	2201	3	鶏(1368), ニワトリ(795), にわとり(38)
バクダン	6126	3	爆弾(6102), バクダン(15), ばくだん(9)
バクハツ	10862	3	爆発(10851), ばくはつ(6), バクハツ(5)
ハンタイ	63641	3	反対(63636), はんたい(3), ハンタイ(2)
ホンモノ	4661	3	本物(4454), ほんもの(106), ホンモノ(101)
マチガイ	5180	3	間違い(4616), まちがい(421), 間違(143)
マボロシ	1721	3	幻(1582), まぼろし(134), マボロシ(5)
モチヌシ	2108	3	持ち主(2105), 持主(2), もちぬし(1)
モヨオシ	3109	3	催し(3030), 催(73), もよおし(6)
モンダイ	320549	3	問題(320522), もんだい(14), モンダイ(13)
ヤリカタ	9066	3	やり方(8818), やりかた(247), 遣り方(1)
ユタカサ	3699	3	豊かさ(3658), ゆたかさ(39), 豊さ(2)
ユルヤカ	1606	3	ゆるやか(1179), 緩やか(328), 緩(99)
ヨロコビ	6726	6	喜び(6174), 喜(317), よろこび(202), 歡び(27), 悦び(5), 慶び(1)
ランヨウ	1981	3	乱用(1942), らんよう(20), 濫用(19)
ワイセツ	1531	3	わいせつ(1470), 猥褻(35), ワイセツ(26)
ワリビキ	4052	3	割引(3965), 割引き(53), 割り引き(34)
ワリマシ	2426	4	割増(1540), 割り増し(578), 割増し(300), 割り増(8)

表 2-1 2種類の表記が存在する4拍語 (1/3)

読み	全頻度	各表記とその頻度	読み	全頻度	各表記とその頻度
アイサツ	17548	あいさつ(17355), 挨拶(193)	カンモン	4226	喚問(4224), かんもん(2)
アカルサ	2228	明るさ(2227), あかるさ(1)	カンレン	44780	関連(44779), かんれん(1)
イイカタ	2254	言い方(2251), いいかた(3)	キビシサ	3052	厳しさ(2952), きびしさ(100)
イチオウ	1586	一応(1544), いちおう(42)	ギウニユウ	3159	牛乳(3157), ぎゅうにゅう(2)
イチゾク	1851	一族(1850), いちぞく(1)	キョウイク	46736	教育(46728), きょういく(8)
イチメン	3370	一面(3327), いちめん(43)	キョウイン	7842	教員(7841), きょういん(1)
イッタン	1851	一端(1843), いったん(8)	キョウカシヨ	8762	教科書(8761), きょうかしよ(1)
イトグチ	1754	糸口(1741), いとぐち(13)	キョウクン	4376	教訓(4375), きょうくん(1)
イミアイ	1655	意味合い(1491), 意味あい(164)	キョウシツ	10538	教室(10533), きょうしつ(5)
ウチワケ	4071	内訳(4062), うちわけ(9)	キリフダ	1869	切り札(1866), 切札(3)
ウリモノ	3234	売り物(3231), 売物(3)	クウシュウ	2502	空襲(2500), くうしゅう(2)
ウツミ	2852	上積み(2849), 上積(3)	クンレン	16274	訓練(16273), くんれん(1)
ウンドウ	39153	運動(39145), うんどう(8)	ケイレツ	6576	系列(6545), ケイレツ(31)
エンガン	3658	沿岸(3657), えんがん(1)	ケツエキ	5676	血液(5675), けつえき(1)
エ نداカ	28036	円高(28031), えんだか(5)	ゲツキユウ	1500	月給(1499), げつきゅう(1)
オウエン	9883	応援(9882), おうえん(1)	ゲンアン	5234	原案(5233), げんあん(1)
オオキサ	8679	大きさ(8677), おおきさ(2)	ゲンサン	1915	減産(1910), げんさん(5)
オービー	6569	OB(6567), オービー(2)	ケンチク	9417	建築(9415), けんちく(2)
オシエゴ	1662	教え子(1543), 教子(119)	ゲンバツ	16043	原発(16041), げんぱつ(2)
オンセイ	2796	音声(2795), おんせい(1)	コイビト	2268	恋人(2266), こいびと(2)
カイゼン	35096	改善(35095), かいぜん(1)	ゴウカク	8570	合格(8569), ごうかく(1)
カイモノ	6396	買い物(6369), 買物(27)	コウチク	4173	構築(4172), こうちく(1)
カクダイ	52003	拡大(51995), 郭大(8)	コーヒー	2957	コーヒー(2877), 珈琲(80)
カクツケ	2288	格付け(2242), 格付(46)	コンダン	5173	懇談(5169), こんだん(4)
カクリヨウ	27619	閣僚(27618), かくりょう(1)	コンナン	9220	困難(9200), こんなん(20)
カタログ	1519	カタログ(1509), 型録(10)	サイバイ	4924	栽培(4923), さいばい(1)
ガッコウ	51077	学校(51047), がっこう(30)	サイボウ	7104	細胞(7103), さいぼう(1)
カツドウ	68929	活動(68927), かつどう(2)	サクセン	12636	作戦(12635), さくせん(1)
カツヨウ	12936	活用(12935), かつよう(1)	サクブン	1924	作文(1922), さくぶん(2)
カネモチ	2112	金持ち(2102), 金持(10)	サッシン	2242	刷新(2241), さっしん(1)
カブヌシ	7604	株主(7603), かぶぬし(1)	サツソク	3218	さっそく(1766), 早速(1452)
カワキリ	2856	皮切り(2855), 皮切(1)	サマザマ	2174	さまざま(1551), 様々(623)

表 2-2 2種類の表記が存在する4拍語 (2/3)

読み	全頻度	各表記とその頻度	読み	全頻度	各表記とその頻度
サヨナラ	2289	サヨナラ(2151), さよなら(138)	セイカツ	73825	生活(73822), せいかつ(3)
ザンネン	4582	残念(4577), ザンネン(5)	セツメイ	66724	説明(66723), せつめい(1)
シーエム	6664	C M(6658), シーエム(6)	セリウリ	1967	競売(1964), 競り売り(3)
シタウケ	3217	下請け(3149), 下請(68)	センデン	8909	宣伝(8908), せんでん(1)
ジツゲン	50700	実現(50699), じつげん(1)	センモン	19342	専門(19341), せんもん(1)
ジツサイ	12943	実際(12895), じっさい(48)	ゼンリョク	7176	全力(7175), ぜんりょく(1)
シッピツ	4725	執筆(4724), しっぴつ(1)	ゾウイン	1821	増員(1820), ぞういん(1)
シツモン	30321	質問(30320), しつもん(1)	ゾウガク	3418	増額(3417), ぞうがく(1)
ジテンシャ	7811	自転車(7809), じてんしゃ(2)	ゾウサン	2468	増産(2429), ぞうさん(39)
シハライ	13428	支払い(12244), 支払(1184)	ソクテイ	5135	測定(5133), そくてい(2)
シバラク	2881	しばらく(2876), 暫く(5)	ソツギョウ	15711	卒業(15710), そつぎょう(1)
ジュウタク	36809	住宅(36807), じゅうたく(2)	ソンザイ	31784	存在(31783), そんざい(1)
ジュウドウ	4505	柔道(4504), じゅうどう(1)	タイケツ	9619	対決(9607), たいけつ(12)
ジュウライ	19927	従来(19925), じゅうらい(2)	タイジュウ	4446	体重(4444), たいじゅう(2)
シュクダイ	1684	宿題(1679), しゅくだい(5)	タップリ	1701	たっぷり(1670), タップリ(31)
シュツセキ	35328	出席(35327), しゅっせき(1)	タノシサ	1567	楽しさ(1552), たのしさ(15)
シュツトウ	1979	出頭(1975), しゅつとう(4)	チカテツ	7333	地下鉄(7332), ちかてつ(1)
ジュンバン	2103	順番(2101), じゅんばん(2)	チュウガク	13652	中学(13650), ちゅうがく(2)
ショウカク	5137	昇格(5135), しょうかく(2)	チュウシヨク	3265	昼食(3264), ちゅうしょく(1)
ショウガツ	4508	正月(4505), しょうがつ(3)	チュウネン	3543	中年(3542), ちゅうねん(1)
ショウギョウ	6897	商業(6896), しょうぎょう(1)	チンアゲ	6465	賃上げ(6464), 賃上(1)
ジョウジュン	7613	上旬(7611), じょうじゅん(2)	チンジョウ	2855	陳情(2854), ちんじょう(1)
ショウトツ	11388	衝突(11387), しょうとつ(1)	ツイラク	5566	墜落(5565), ついらく(1)
ジョウヤク	27588	条約(27583), じょうやく(5)	テイイン	8098	定員(8024), ていいん(74)
ショクブツ	5624	植物(5623), しょくぶつ(1)	テイレイ	3309	定例(3308), ていれい(1)
ジンイン	7275	人員(7274), じんいん(1)	テキタイ	1655	敵対(1654), てきたい(1)
シンガオ	4704	新顔(4701), しんがお(3)	テダスケ	1929	手助け(1918), 手助(11)
シンガタ	4826	新型(4788), 新形(38)	テツカイ	6043	撤回(6042), てっかい(1)
ジンドウ	3121	人道(3120), じんどう(1)	テツテイ	11639	徹底(11637), てってい(2)
シンブン	30796	新聞(30764), しんぶん(32)	テツドウ	10800	鉄道(10798), てつどう(2)
スイドウ	2656	水道(2652), すいどう(4)	テツパイ	8154	撤廃(8153), てっぱい(1)
スウガク	3572	数学(3571), すうがく(1)	デンテツ	1727	電鉄(1725), でんてつ(2)

表 2-3 2種類の表記が存在する4拍語(3/3)

読み	全頻度	各表記とその頻度	読み	全頻度	各表記とその頻度
トウケツ	10048	凍結(10047), とうけつ(1)	ホンギョウ	2111	本業(2109), ほんぎょう(2)
トツゼン	8851	突然(8845), トツゼン(6)	ホンニン	19779	本人(19774), ホンニン(5)
トマドイ	2776	戸惑い(2381), とまどい(395)	ホンバン	2836	本番(2835), ほんばん(1)
ナニヨリ	1891	何より(1868), なにより(23)	ホンライ	8326	本来(8284), ほんらい(42)
ナンショク	3620	難色(3619), なんしょく(1)	マエウリ	2261	前売り(2252), 前売(9)
ナンダイ	1692	難題(1638), なんだい(54)	マスマス	3961	ますます(3948), 益々(13)
ナンミン	14710	難民(14708), なんみん(2)	マツタク	2736	全く(1643), まったく(1093)
ニツテイ	20888	日程(20886), にってい(2)	マンイチ	1622	万一(1621), まんいち(1)
ニホンガ	2219	日本画(2218), にほんが(1)	マンイン	1900	満員(1899), まんいん(1)
ニュウコク	4973	入国(4972), にゅうこく(1)	マンゾク	6511	満足(6509), まんぞく(2)
ニンシン	3663	妊娠(3662), にんしん(1)	ミチスジ	3016	道筋(3014), みちすじ(2)
ネサガリ	3081	値下がり(3076), 値下り(5)	メイレイ	9018	命令(9016), めいれい(2)
ノウギョウ	27489	農業(27488), のうぎょう(1)	メイワク	5802	迷惑(5798), めいわく(4)
ノウヤク	5512	農薬(5510), のうやく(2)	メンカイ	2809	面会(2807), めんかい(2)
ノビリツ	5904	伸び率(5903), 伸率(1)	メンドウ	2938	面倒(2814), めんどろ(124)
バイショウ	4240	賠償(4237), ばいしょう(3)	モツバラ	1718	もつばら(1566), 専ら(152)
ハジマリ	3171	始まり(2763), はじまり(408)	ヤクソク	16590	約束(16582), やくそく(8)
ハタラキ	5863	働き(5752), はたらき(111)	ヤクニン	3180	役人(3179), やくにん(1)
パチンコ	3646	パチンコ(3641), ぱちんこ(5)	ヤスウリ	2142	安売り(2134), 安売(8)
バツサイ	3246	伐採(3245), ばっさい(1)	ユウビン	2562	郵便(2557), ゆうびん(5)
ハッタツ	3981	発達(3980), はったつ(1)	ヨコヅナ	6322	横綱(6316), ヨコヅナ(6)
ハッテン	23233	発展(23230), はってん(3)	ヨノナカ	5555	世の中(5554), よのなか(1)
バンゴウ	5953	番号(5952), ばんごう(1)	ライネン	40686	来年(40685), らいねん(1)
ヒコウキ	5974	飛行機(5961), ひこうき(13)	リバライ	1586	利払い(1571), 利払(15)
ヒツテキ	1927	匹敵(1926), ひつてき(1)	レンラク	29056	連絡(29055), れんらく(1)
ヒョウジュン	5342	標準(5327), ひょうじゅん(15)	ロウジン	15198	老人(15196), ろうじん(2)
フクゲン	2791	復元(2783), 復原(8)	ロクオン	3413	録音(3412), ろくおん(1)
ブンガク	9277	文学(9272), ぶんがく(5)			
ベンキョウ	19393	勉強(19390), べんきょう(3)			
ベンゴシ	22802	弁護士(22801), べんごし(1)			
ホウシュツ	3027	放出(3025), ほうしゅつ(2)			
ボウリョク	9651	暴力(9649), ぼうりょく(2)			